

視点



幼稚園の歴史を振り返る



全日本私立幼稚園連合会 専務理事 鈴木良一

今年は我が国に初めて幼稚園が誕生してから140年という節目の年に当たります。すなわち幼稚園の関係者なら既にご承知のように、1876年（明治9年）、東京女子師範学校（現お茶の水女子大学）に附属幼稚園が我が国初の「幼稚園」として設置されました。そこで、この機会に「幼稚園の歴史」を振り返ってみたいと思います。

世界で最初の「幼稚園」は、ドイツのフリードリッヒ・フレーベル（1782～1852）が1840年に設立した「一般ドイツ幼稚園」です。彼はこれを「子どもの庭」という意味の Kindergarten（キンダーガルテン）と名付けました。実は、フレーベルより以前にイギリスのロバート・オウエンが、産業革命の中で子どもの工場労働による健康障害などを憂慮して、幼児教育のための学校として「性格形成学院」を創設していましたが、ドイツ以外の国においても、「幼稚園」の創始者としてのフレーベルの業績に敬意を表して、ドイツからの外来語としての Kindergarten, Kindergarden という表現を用いる場合が多いようです。

フレーベルは、庭園の植物をその本性に従って水や肥料をやり、日照や温度に配慮しながら育てるよう、神のような子どもの本質を尊重し、それを損なうことなく保護し、育成していくべきだと考え、そこから Kindergarten（子どもの庭）という名称が生まれました。また、彼は、遊びや作業によって子どもの自然な発達を促すために遊具を考案し、花壇や果樹園などのある「庭」を幼稚園に設置すべきであると主張しました。こうしたフレーベルの考え方に基づく幼稚園は、その後ドイツ国内を始め各国に広まってきました。

一方、我が国においては、1872年（明治5年）に公布された学制において、「幼稚小学ハ甲女ノ子

第六歳迄ノモノ小学ニ入ル前ノ端緒ヲ教ルナリ」という規定が置かれ、こうした就学前の幼児教育施設として最初に設けられたのは、1875年（明治8年）に京都市上京区第三十区二十七番組小学校に付設された「幼稚遊嬉場（ようちゆうきじょう）」でしたが、これはわずか1年半で廃止されてしまいました。

そして、その後、我が国初の「幼稚園」として設立されたのが、前述の東京女子師範学校附属幼稚園、現在のお茶の水女子大学附属幼稚園です。

同幼稚園では、その目的として、「本園ハ学齢未満ノ小児ヲシテ天賦ノ知覚ヲ発達シ固有ノ良心ヲ啓発セシムルト、身体ヲ自由ニ運動シ強健全ナラシムルト、慈母教保ノ及ヒ難キ所ヲ補綴シ不良ノ習慣ニ浸染セシメザルト」（「仮定幼稚園規則」1876年）をあげています。

その後、この東京女子師範学校附属幼稚園をモデルとして、全国各地に幼稚園が設立されていくこととなります。1879年（明治12年）4月1日に鹿児島県が鹿児島女子師範学校附属幼稚園を開園し、同じ年の5月3日には大阪府立模範幼稚園が開園し、さらに6月7日には仙台市に仙台区木町通小学校附属幼稚園が開園するなど幼稚園教育が地方へ普及していくこととなりました。現存する最古の私立幼稚園としては、1886年（明治19年）に石川県金沢市に英和幼稚園として開園した北陸学院第一幼稚園があります。

現在、少子化の進展や幼保一元化など幼稚園を取り巻く環境はかつてない大きな変革期にあります。こうした幼稚園の過去の歴史に思いをいたしつつ、新たな時代を切り開いていくことも必要なではないでしょうか。

（本稿は「wikipedia」等を参考にしました。）

平成28年度概算要求の概要 幼児教育の振興

(前 年 度 予 算 額 46,032百万円)
平成28年度要求・要望額 49,321百万円
※子ども・子育て支援新制度移行見込み分を除いた
文部科学省要求・要望額 41,818百万円
※事項要求含む

1. 要求要旨

幼児期の教育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、幼児教育の段階的無償化に向けた取組を推進するとともに、幼児教育の質の向上及び環境整備を促進することにより幼児教育の振興を図る。

(1) 幼児教育の段階的無償化に向けた取組の推進（幼稚園就園奨励費）

事項要求（32,341百万円）※

- 「幼児教育無償化に関する関係閣僚・与党実務者連絡会議」（平成27年7月22日開催）で取りまとめられた方針等を踏まえ、「環境整備」と「財源確保」を図りつつ、段階的に無償化に向けた取組を進めることとし、その対象範囲や内容等については予算編成過程において検討することとされているため、事項要求とする。

※子ども・子育て支援新制度移行見込み分を含む。

(2) 幼児教育の質の向上

◆幼児教育の質向上推進プラン

①幼児教育の推進体制構築事業 223百万円（新規）

地域の幼児教育の質の向上を図るため、地域の幼児教育の拠点となる幼児教育センターの設置や、幼稚園・保育所・認定こども園等を巡回して指導助言等を行う「幼児教育アドバイザー」の育成・配置など、自治体における幼児教育の推進体制の検討・整備を行う。

※委託先：16団体（都道府県、市町村）

②幼児期の教育内容等深化・充実調査研究 21百万円（新規）

幼児教育に係る教職員の研修等をはじめとした資質向上、幼児教育にふさわしい評価の在り方の検討等に関する調査研究を実施する。

※委託先：10団体（都道府県・市町村、大学、教育研究団体等）

◆幼稚園教育要領の改訂 15百万円（新規）
○中央教育審議会における審議を踏まえ、幼稚園教育要領の改訂や解説書の作成等を着実に実施する。

◆ECEC Network事業の参画（一部再掲） 39百万円（新規）
○OECDにおいて計画されている以下の調査に参加し、幼児教育の質の向上を図るための政策立案に資するデータを収集する。
①幼児教育・保育の従事者に関する調査
②幼保小接続に関する調査、
③幼児教育・保育の学習効果に関する調査

（3）幼児教育の環境整備の充実

◆認定こども園等への財政支援 14,509百万円（13,484百万円）
○認定こども園の設置・促進を図るため、認定こども園の新設・園舎の耐震化等に必要な施設整備費を支援するとともに、幼稚園教諭免許と保育士資格の併有促進や、研修等の実施費用を支援する。

◆私立幼稚園の施設整備の充実 2,173百万円（173百万円）
○学校法人立幼稚園等の緊急の課題となっている耐震化に取り組むとともに、施設のアスベスト対策等に要する経費の一部を補助することにより幼稚園の環境整備を図る。

幼児教育の段階的無償化に向けた取組の推進【事項要求】 (幼稚園就園奨励費補助)

前年度予算額	323億円
子ども・子育て支援新制度移行分を含めた所要額：402億円	

平成28年度要求額	323億円
うち、子ども・子育て支援新制度移行見込み分を除いた 文部科学省概算要求額：248億円	

○幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、すべての子供に質の高い幼児教育を保障するため、幼児教育に係る保護者負担を軽減し、無償化に段階的に取り組む。

○「幼児教育無償化に関する関係閣僚・与党実務者連絡会議」(平成27年7月22日開催)で取りまとめられた方針等を踏まえ、「環境整備」と「財源確保」を図りつつ、段階的に無償化に向けた取組を進めることとし、その対象範囲や内容等については予算編成過程において検討することとされているため、事項要求とする。(平成27年度は、低所得世帯の保護者負担の軽減、地方の超過負担の解消を行ったところ。)

※幼稚園就園奨励費補助 (補助率：1／3以内)

幼児教育の振興を図る観点から、保護者の所得状況に応じた経済的負担の軽減等を図る「幼稚園就園奨励事業」を実施している地方公共団体に対し国が所要経費の一部を補助する。

<参考>幼児教育に係る保護者負担の現状（平成27年度）

1. 第1子に係る保護者負担

(階層区分)	(27年度補助単価) (年額)	(保護者負担額) (年額)
【私立】 第Ⅰ階層：生活保護世帯	308,000円	0円
第Ⅱ階層：市町村民税非課税世帯 (市町村民税所得割非課税世帯を含む) (年収約270万円まで)	272,000円 (72,800円増) ※平成27年度に度保護者負担額を月額9,100円から3,000円に引き下げ	36,000円 (3,000円/月)
第Ⅲ階層：市町村民税所得割課税額 (77,100円以下)世帯 (年収約360万円まで)	115,200円	192,800円
第Ⅳ階層：市町村民税所得割課税額 (211,200円以下)世帯 (年収約680万円まで)	62,200円	245,800円

※ 金額は、第1子の場合の補助単価(年額)

※ 補助限度額は保育料の全国平均単価(私立):308,000円

※ 市町村民税所得割課税額(補助基準額)及び年収は、夫婦(片働き)と子供2人世帯の場合の金額であり、年収はおおまかな目安。

2. 第2子、第3子以降に係る保護者負担

・第1子の保護者負担を[1.0]とした場合、所得に関わらず、第2子半額、第3子無償。

(幼稚園に同時就園している場合、小学校1～3年生の兄・姉がいる場合)

【例】私立幼稚園に同時就園している年収約680万円以上の家庭の園児の場合

- ・第1子 補助額： 0円、保護者負担額： 308,000円
- ・第2子 補助額： 154,000円、保護者負担額： 154,000円 ※第1子の半額
- ・第3子 補助額： 308,000円、保護者負担額： 0円 ※無償

※上記補助額及び保護者負担額は、保育料の全国平均単価(私立:308,000円)の場合。

※就園奨励事業は市町村が行う事業であり、実際の補助額は市町村により異なる。国からの補助の上限は、保育料の全国平均単価(私立:308,000円)。

私立高等学校等経常費助成費補助金 幼稚園分の概要

平成28年度要求額 30,742百万円
(平成27年度予算額 30,308百万円)

○ 一般補助 20,550百万円

園児一人当たりの単価： 23,491円（対前年度 256円増・単価1.1%増）
園児数 : 1,097,705人（対前年度 22,801人減（自然減））

○ 特別補助 10,192百万円

1. 幼稚園等特別支援教育経費

5,681百万円

都道府県が、障害のある幼児が2人以上就園している私立の幼稚園又は幼保連携型認定こども園に特別な助成を行う場合、国が都道府県に対してその助成額の一部を補助。

園児数 : 15,255人（対前年度1,830人増）

2. 教育改革推進特別経費（子育て支援推進経費）

4,511百万円

・預かり保育推進事業

3,451百万円

幼稚園の教育時間終了後や休業日等に「預かり保育」を実施する私立の幼稚園等に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1／2以内を補助。

幼稚園数 : 延べ8,790園（対前年度同数）

・幼稚園の子育て支援活動の推進

1,060百万円

教育機能又は施設を広く地域に開放することを積極的に推進する私立の幼稚園等に特別な助成措置を講じる都道府県に対して、国がその助成額の1／2以内を補助。

幼稚園数 : 1,325園（対前年度25園減（実績を踏まえたもの））

公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

★第6回幼児教育実践学会

全国から約1,200人が参加 シンポジウム、口頭発表、ポスター発表など行う

第6回幼児教育実践学会が8月18日、19日に福島県郡山市・郡山女子大学において開催されました。今年度の幼児教育実践学会は(公社)福島県私立幼稚園連合会共催のもと、第3回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会(郡山大会)と合同で行われました。全国各地から約1,200人の幼稚園関係者等が参加し、「子どもの『今』に寄り添い、子どもと『未来』をきずく～保育臨床の視点を大切に、保育の質を高めよう～」をテーマに、保育実践者と研究者が共に学び、育ち合う、実践を踏まえた研究発表が行われました。

詳細については以下の通りです。

●1日目

1日目の開会式、表彰式では初めに(公財)全日本幼児研究機構田中雅道理事長と(公社)福島県私立幼稚園連合会平栗裕治理事長より開会のあいさつをいただきました。



次に、来賓祝辞として学校法人郡山開成学園関口修理事長がご欠席のため、郡山女子短期大学部石村由美子副学長よりごあいさつをいただきました。

つづいて、平成26年度・優秀教員表彰の賞状授与が行われました。教育実践活動、研究成果等の実践活動において優れた成果をあげられた5名が受賞されました。

バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！

くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。

いつもNAV! 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。

いつもNAV! 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)は、株式会社ゼンリンデータコムの登録商標です。

株式会社 チャイルド社 インターネット課
TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>



▲優秀教員表彰



▲シンポジウム I



▲シンポジウム II

被表彰者は以下の通りになります。

●平成 26 年度優秀教員表彰 被表彰者

山本 秀子／学校法人高麗学園こうま幼稚園副園長・
東京都
高部 和子／学校法人青藍幼稚園主任・山梨県
池田 美穂／常葉大学短期大学部附属とこは幼稚園
副園長・静岡県
磯野 おわ／学校法人国風学園国風第三幼稚園園長・
愛知県
中矢コノミ／学校法人木の実学園木の実幼稚園園長・
愛媛県

優秀教員表彰終了後、(公財)全日私幼研究機構
安達譲研究研修委員長より本実践学会の概要説明が
行われました。

次に、シンポジウム I では、「福島の子どもたち
の今とこれからに寄り添う～大震災・原発事故とい

う未曾有の状況の中で～」をテーマに行われました。
シンポジウム I では福島県いわき市・ほうとう幼稚園副園長の生駒恭子先生と医療法人仁寿会菊池記念こども保健医学研究所所長の菊池信太郎先生をシンポジストに迎え、またコーディネーターとして(公財)全日私幼研究機構の東重満総監修研究チーム座長が登壇されました。

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田 2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415

園ぴゅう太のメールサービス



園から保護者へらくらくメール送信!
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。



目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にもシステム併用でご対応いたします。

シンポジウムⅡでは、「自園の事例研究の在り方～日常のケース会議から～」をテーマに、講師に大妻女子大学教授の岡健先生を迎えて、事例提供者として千葉県・コスモス幼稚園より松丸聰美先生、勝股美穂先生、佐藤知佳先生、コーディネーターに安達譲研究研修委員長にご登壇いただき、行われました。

シンポジウム終了後には「保育者と研究者の交流懇親会」が行われ、2日目の口頭発表・ポスター発表に向け保育者と研究者同士の活発な交流が行われました。



▲口頭発表



▲ポスター発表

●2日目

1日目に引き続き郡山女子大学を会場に、午前の口頭発表Ⅰでは13発表、午後の口頭発表Ⅱでは14発表が大学の各教室に分かれ行われました。

また昼食の時間と並行して、40発表のポスター発表が行われました。午後の部の口頭発表の終了とともに、2日間に亘る第6回幼児教育実践学会は終了いたしました。

1日1話、365日分の「読みきかせお話集」

E40451 きょうのおはなしに春
E40452 きょうのおはなしに夏
E40453 きょうのおはなしに秋
E40454 きょうのおはなしに冬

きょうのおはなしに

1冊につき3か月分を収録。情操を育むお話はもちろん季節や行事などの内容も盛り込んだ1日1話、365日分の「読みきかせお話集」の決定版です。漢字にはふりがなつきで、子ども自身でも読むことができます。

各巻 定価：本体 2,400円(税別)
大きさ／26.2cm×21.5cm
秋・冬は、全国学校図書館協議会選定

ひかりのくに株式会社

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

Kirsti Karila タンペレ大学学校教育学部副学部長・教授

フィンランドにおける就学前教育から 小学校教育への移行 ～越境する子ども・保護者・教師～

■子どもたちのあり方を考える

ここまでフィンランドの移行期における多様性についての話でしたが、その中で大きな課題とされているのが、「子どもはそのままの存在であるのか、それとも成長して“なる”ものであるか」という点です。そのままの存在であると捉えるならば議論の必要はありませんが、成長していく存在であると考えるならば学校に進学する子どものために何を提供していくか、どのようにスケジュールを組めばよいかが重要になり、どのような存在になるよう働きかけるかといった事が接続期の課題となります。5～10年ほど前に心理学者からスクールレディネス（就学準備性）を学校に対して取る必要があると言われていました。それについて、年代の高い人は就

学前準備を様々な形でとらなければならないと考えている一方、若い世代の人は子供をそのままの存在として考え、今ここにある学びをどうするかという点を重要視しており、議論が行われているそうです。

また、幼児の読み書きについても議論が行われています。2000年頃に幼児教育義務化の話が出た際に読み書きの部分が問題になり、義務化したその年に幼稚園を訪れる園の中が文字ばかりになる状況がありました。現在はそれから十年以上経ち、保育者が子どもを“在る”存在として、学びに着目しているため、そのような混乱は見られなくなっています。ちなみに、7歳の就学までに子どもたちは自然と読み書きが出来るようになりますが、保護者や保育者は小学校の範囲だからと、子どもたちが興味を持つても控えようとする態度が見られる事もある



あなたの大切な子を
ぎゅっとハグしたくなる写真集です
子どもがひとり笑ったら…

小西貴士／写真・ことば
定価本体 1,600 円+税
24×18cm 72 ページ

10949 ISBN978-4-577-81386-7

小西貴士「子ども」シリーズ、待望の3冊目。森のようちえんでの子どもと大人の心温まる日々を1冊にまとめました。くすっと笑ってしまう写真、抱きしめたくなる泣き顔の写真…お気に入りの1枚を見つけてみてください。



10950 ISBN978-4-577-81387-4

これからの時代、保育の質の向上を考える際にぜひ！

**これからの保育に！
毎日コツコツ役立つ
保育のコツ 50**

無藤 隆／著
定価本体 1,380 円+税
21×15cm 120 ページ

「保育内容」「連携」「行事」「ニーズ対応」「指導計画」等々、保育現場に必須のテーマを取り上げ、基本的な考え方、実施の仕方などのコツをまとめました。実践につながるコツがいっぱい！ 保育の質の向上に役立ちます。

ります。しかし、子どもたちが就学した際は小学校での学びが難しく感じられず、挑戦したいと思うレベルの教育ではないため、フラストレーションが溜まる事もあるようです。

■移行期における実践例

移行の際には遊べる環境が沢山あった遊び中心の幼稚園からそうではない小学校に行くので、少なからずギャップはあり、移行期の形は様々です。その中で、フィンランドで一般的に行われている実践例は下記の通りになります。

1つ目は、就学前の子どもたちが学校を訪問、見学して小学校に慣れ親しむ事、2つ目は保育者と小学校の先生と一緒に協同する事、3つ目として保育者と小学校の先生が入学当日の行事を一緒に企画し、入学式を執り行う等があります。4つ目は全ての施設で行っている訳ではありませんが、入学前に子ども・保護者・1年生の担任教師が事前に三者面談があります。5つ目は、保育者と1年生の担任、その他専門家（特別支援教諭、学校心理士等）が入学児、特に特別支援の必要な子どもについての意見交換を行う事であり、委員会も設けられています。

6つ目は個別の教育・保育計画であり、特別支援では多く取り入れられている個別指導計画を全ての



子どもたちに作成し、小学校に提供されています。個別指導計画の難しい点として、その作成にあたり個別に子供の様子を見とり、適した内容を書ける能力が先生に備わっているか、誤った情報、偏った内容が記述されることによる偏見や子供の権利の侵害に当たらないか、といった点が挙げられます。そのような難しさを含みつつも、発達ポートフォリオや個別の指導計画が小学校に提供されることは経験の継続という観点からも良い取り組みと言えます。

7つ目は一般的ではありませんが、国が決めたカリキュラムを基に、それを地方自治体の権限で具体的な詳細を決め、小学校の先生および保育者が一緒に1、2年生のカリキュラムを作成、改正していく事がなされています。6つ目までは別の施設を橋渡しする接続ですが、7番目の取り組みは一緒に



優れた芸術家の作品を、
子どもたちの生活環境へ。
見て、触れて、感じながら、
子どもたちの心は、
大きく羽を広げます。

「喜ぶ少女」

株式会社 ジャクエツ
www.jakuetsu.co.jp

新しい物を作る接続であると言えます。

■施設間の垣根を理解する

保育機関と学校機関は歴史的、文化的に別々に創造されており、それぞれの活動システムは大きな壁があり、内容も様々です。活動システムが違いますので、保護者の役割や求められているものも異なります。移行期には、その様々な活動の展開に応じて、保育者や小学校の先生、子どもや保護者は異なる施設間の垣根を超えていく必要がありますが、Edwardsによると、「様々な実践からもたらされるリソースが合わさって、多面的な課題を理解する方法が広がる場である」と位置付けています。実践に違いが存在する事を見ていくと、先生間や保護者、子どもにとっても立場の違いや文化の違いによって多面的に意味がある事を理解する事が出来ます。行っている事は違っても、子どものために行っている事が移行期の壁を通る事で分かる、とKirsti先生は取り上げ、新しい移行期の創設のヒントとして考えられていました。

■子どもたちをどう見るか

Kirsti先生の双子のお孫さんがちょうど就学の年齢にあり、小学校に通う際に公共のバスに乗って学

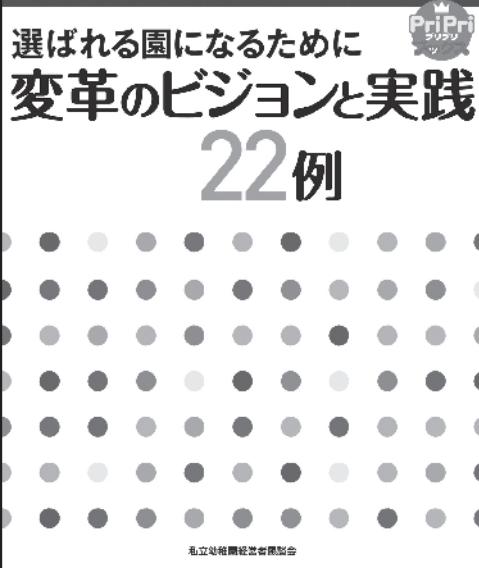
校に通う必要があったそうですが、子どもたちは自分たちでバスに乗れることを誇りに思い、保護者の送迎を拒否したそうです。バスに乗る経験から仲間・人間関係や文化が作られた事は興味深く思われます。このような経験を基に考察されるまとめとして、移行期を考えるにあたり、子どもたちをか弱く傷つきやすい存在として見るのは、それとも能力があり、自分たちで切り開いていく存在として見るのは、といった「子どもたちをどう見るか」といった観点が非常に大切であると言えるでしょう。(つづく)

(京都市・光明幼稚園副園長／田中康雄)

11月は、児童虐待防止 推進月間です。

厚生労働省は、11月を「児童虐待防止推進月間」と位置づけ、関係省庁、関係団体の協力のもと、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図っています。期間中は児童虐待防止のための広報・啓発活動、オレンジリボン・キャンペーンの推進、フォーラム等の開催などの取り組みを集中的に実施します。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。



こども園への移行？ 0・1・2歳児保育を導入？ 保育の質の向上は？
選ばれる園になるために
～変革のビジョンと実践 22例～
保育施設の未来がこの本に！
保育施設の“機能と質”を考える。
22園の変革ビジョンとプロセスを一挙公開。

私立幼稚園経営者懇談会・著
248ページ／税込4,320円
世界文化社刊／4061301

株式会社世界文化社 ワンダー営業本部
TEL: 03-3262-5128 FAX: 03-3262-6121

平成27年度 振興資料集①

○平成27年度学校基本調査速報概要

幼稚園の現状

区分	全 体		国 立		公 立		私 立		
	総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合	総 数	割 合	
幼稚園数	11,676	100.0%	49	0.4%	4,321	37.0%	7,306	62.6%	
学級数	62,368	100.0%	230	0.4%	12,762	20.5%	49,376	79.2%	
園児数	3歳児	398,017	100.0%	1,288	0.3%	38,433	9.7%	358,296	90.0%
	うち満3歳児	44,647	100.0%	0	0.0%	252	0.6%	44,375	99.4%
	4歳児	488,101	100.0%	2,070	0.4%	88,986	18.2%	397,045	81.3%
	5歳児	515,848	100.0%	2,152	0.4%	110,568	21.4%	403,128	78.1%
	計	1,401,966	100.0%	5,510	0.4%	237,987	17.0%	1,158,469	82.6%
本務教員数	101,498	100.0%	352	0.3%	21,289	21.0%	79,857	78.7%	

出典：文部科学省「平成27年度学校基本調査速報」（平成27年5月1日現在）

※ 満3歳児の園児数は、前年度間に入園した平成23年4月2日～24年4月1日生まれの園児数である。

※ 幼保連携認定こども園の園数等は含まない。

幼稚園の園数等の推移

区分	幼稚園数 (A)	うち私立 幼稚園数 (B)	在園児数					教員数 (本務者) (C)	本務教員 1人あたり園児数 (B/C)	幼稚園修了者数	小学校第一学年児童数 に対する 幼稚園修了 者数の比率
			計	3歳児	4歳児	5歳児	うち私立幼稚園の在園児数				
年度	園	園	人	人	人	人	人	人	人	人	%
昭和30	5,426	3,501	643,683	11,980	115,947	515,756	402,728	24,983	25.8	500,141	20.1
40	8,551	5,382	1,137,733	46,488	393,415	697,830	836,953	45,193	25.2	666,658	41.3
50	13,106	7,796	2,292,591	131,002	943,457	1,218,132	1,721,870	85,680	26.8	1,209,152	64.0
60	15,220	8,903	2,067,951	210,662	821,145	1,036,144	1,556,881	98,455	21.0	1,032,892	63.6
平成元	15,080	8,793	2,037,614	259,051	816,143	962,420	1,576,909	100,407	20.3	961,842	64.0
2	15,076	8,785	2,007,964	275,201	795,056	937,707	1,568,141	100,935	19.9	961,842	64.0
3	15,041	8,769	1,977,611	300,242	774,127	903,242	1,560,274	101,493	19.5	937,880	64.0
4	15,006	8,737	1,948,868	323,776	753,856	871,236	1,551,042	102,279	19.1	903,948	64.1
5	14,958	8,704	1,907,110	322,763	741,745	842,602	1,520,513	102,828	18.5	872,061	63.8
6	14,901	8,657	1,852,183	326,610	703,245	822,328	1,474,661	103,014	18.0	841,978	63.5
7	14,856	8,639	1,808,432	341,515	689,807	777,110	1,439,992	102,992	17.6	822,209	63.2
8	14,790	8,601	1,798,051	346,675	693,668	757,708	1,431,056	103,518	17.4	777,675	62.8
9	14,690	8,556	1,789,523	350,401	682,115	757,007	1,422,090	103,839	17.2	785,467	62.5
10	14,603	8,524	1,786,129	371,308	673,089	741,732	1,419,452	104,687	17.1	757,660	62.3
11	14,527	8,497	1,778,286	358,093	691,828	728,365	1,410,817	105,048	16.9	741,362	61.6
12	14,451	8,479	1,773,682	370,237	656,806	746,639	1,402,942	106,067	16.7	728,334	61.1
13	14,375	8,443	1,753,422	381,798	664,732	706,892	1,385,641	106,703	16.4	747,154	60.6
14	14,279	8,410	1,769,096	398,626	657,316	713,154	1,399,011	108,051	16.4	707,642	59.9
15	14,174	8,389	1,760,494	400,243	658,631	701,620	1,392,640	108,822	16.2	712,935	59.3
16	14,061	8,363	1,753,393	410,228	642,804	700,361	1,389,997	109,806	16.0	702,255	58.9
17	13,949	8,354	1,738,766	420,343	637,554	680,869	1,383,249	110,393	15.8	700,745	58.4
18	13,835	8,317	1,726,520	423,770	629,348	673,402	1,377,688	110,807	15.6	682,082	57.7
19	13,723	8,292	1,705,402	428,928	613,556	662,918	1,367,723	111,239	15.3	672,925	57.2
20	13,626	8,276	1,674,172	427,148	602,112	644,912	1,349,247	111,228	15.0	662,911	56.7
21	13,516	8,261	1,630,336	415,991	584,228	630,117	1,318,006	110,692	14.7	644,771	56.4
22	13,392	8,236	1,605,912	435,457	559,513	610,942	1,304,966	110,580	14.5	631,221	56.2
23	13,299	8,226	1,596,170	443,750	570,750	581,670	1,303,803	110,402	14.5	611,036	55.7
24	13,170	8,197	1,604,225	442,508	566,985	594,732	1,314,968	110,836	14.5	584,417	55.1
25	13,043	8,177	1,583,610	440,512	554,321	588,777	1,303,661	111,111	14.2	595,976	54.8
26	12,905	8,142	1,557,461	441,834	540,560	575,067	1,287,284	111,059	14.0	590,632	54.2
27	11,676	7,306	1,158,469	358,296	397,045	403,128	1,158,469	79,857	14.5	578,975	53.5

注) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成27年度は「速報値」。3歳児には満3歳児入園者を含む。

※幼保連携認定こども園の園数等は含まない。

3歳児教育の普及状況の推移

区分	幼稚園数			在園児数			3歳児在園児数					
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立
昭和60年度	15,220	48	6,269	8,903	2,067,951	6,609	504,461	1,556,881	210,662	988	4,645	205,029
61	15,189	48	6,267	8,874	2,018,523	6,593	481,109	1,530,821	222,677	985	4,974	216,718
62	15,156	48	6,263	8,845	2,016,224	6,600	470,454	1,539,170	232,398	999	5,563	225,836
63	15,115	48	6,251	8,816	2,041,820	6,606	467,611	1,567,603	246,770	1,000	5,594	240,176
平成元年年度	15,080	48	6,239	8,793	2,037,614	6,557	454,148	1,576,909	259,051	980	5,738	252,333
2	15,076	48	6,243	8,785	2,007,964	6,581	433,242	1,568,141	275,201	981	5,625	268,595
3	15,041	48	6,224	8,769	1,977,611	6,630	410,707	1,560,274	300,242	983	6,096	293,163
4	15,006	49	6,220	8,737	1,948,868	6,613	391,213	1,551,042	323,776	1,032	7,037	315,707
5	14,958	49	6,205	8,704	1,907,110	6,740	379,857	1,520,513	322,763	1,102	8,424	313,237
6	14,901	49	6,195	8,657	1,852,183	6,786	370,736	1,474,661	326,610	1,119	10,838	314,653
7	14,856	49	6,168	8,639	1,808,432	6,778	361,662	1,439,992	341,515	1,120	13,236	327,159
8	14,790	49	6,140	8,601	1,798,051	6,827	360,168	1,431,056	346,675	1,124	15,784	329,767
9	14,690	49	6,085	8,556	1,789,523	6,803	360,630	1,422,090	350,401	1,132	17,957	331,312
10	14,603	49	6,030	8,524	1,786,129	6,823	359,854	1,419,452	371,308	1,167	21,339	348,802
11	14,527	49	5,981	8,497	1,778,286	6,911	360,558	1,410,817	358,093	1,181	23,804	333,108
12	14,451	49	5,923	8,479	1,773,682	6,889	363,851	1,402,942	370,237	1,207	28,131	340,899
13	14,375	49	5,883	8,443	1,753,422	6,819	360,962	1,385,641	381,798	1,188	33,270	347,340
14	14,279	49	5,820	8,410	1,769,096	6,804	363,281	1,399,011	398,626	1,203	36,867	360,556
15	14,174	49	5,736	8,389	1,760,494	6,718	361,136	1,392,640	400,243	1,229	39,307	359,707
16	14,061	49	5,649	8,363	1,753,393	6,626	356,770	1,389,997	410,228	1,210	41,311	367,707
17	13,949	49	5,546	8,354	1,738,766	6,572	348,945	1,383,249	420,343	1,217	42,800	376,326
18	13,835	49	5,469	8,317	1,726,520	6,531	342,301	1,377,688	423,770	1,237	43,082	379,451
19	13,723	49	5,382	8,292	1,705,402	6,457	331,222	1,367,723	428,928	1,270	42,987	384,677
20	13,626	49	5,301	8,276	1,674,172	6,374	318,551	1,349,247	427,148	1,265	42,702	383,181
21	13,516	49	5,206	8,261	1,630,336	6,315	306,015	1,318,006	415,991	1,278	42,104	372,609
22	13,392	49	5,107	8,236	1,605,912	6,215	294,731	1,304,966	435,457	1,310	43,436	390,711
23	13,299	49	5,024	8,226	1,596,170	6,044	286,323	1,303,803	443,750	1,308	43,663	398,779
24	13,170	49	4,924	8,197	1,604,225	5,930	283,327	1,314,968	442,508	1,291	43,451	397,766
25	13,043	49	4,817	8,177	1,583,610	5,785	274,164	1,303,661	440,512	1,292	42,599	396,621
26	12,905	49	4,714	8,142	1,557,461	5,614	264,563	1,287,284	441,834	1,259	42,315	398,260
27	11,676	49	4,321	7,306	1,401,966	5,510	237,987	1,158,469	398,017	1,288	38,433	358,296

注) 出典：文部科学省「学校基本調査」。平成27年度は「速報値」。3歳児には満3歳児入園者を含む。

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼保連携型認定こども園の園数等

区分	全 体	公 立	私 立
園 数	1,943	374	1,569
学 級 数	10,002	1,790	8,212
園児数	8,867	1,083	7,784
0歳	26,692	4,072	22,620
1歳	31,476	5,105	26,371
2歳	69,813	10,099	59,714
3歳	72,455	11,715	60,740
4歳	71,787	11,846	59,941
5歳	281,090	43,920	237,170
本務教員数	37,415	5,632	31,783

都道府県別

区分	幼稚園数				在園児数(1)				3歳
	計	国立	公立	私立	計	国立	公立	私立	
1 北海道	490	2	62	426	58,105	101	2,709	55,295	17,052
2 青森	107	1	7	99	6,533	76	146	6,311	2,017
3 岩手	113	1	52	60	8,687	108	1,891	6,688	2,496
4 宮城	262	1	87	174	30,704	152	4,146	26,406	7,698
5 秋田	47	1	8	38	3,481	120	432	2,929	1,030
6 山形	88	1	15	72	8,885	100	773	8,012	2,560
7 福島	312	1	184	127	21,724	53	7,590	14,081	5,268
8 茨城	292	1	157	134	28,398	108	8,213	20,077	7,017
9 栃木	152	1	4	147	22,384	157	224	22,003	6,949
10 群馬	189	1	79	109	18,019	140	4,915	12,964	5,583
11 埼玉	590	1	56	533	106,353	80	3,598	102,675	30,937
12 千葉	541	1	120	420	86,946	140	8,311	78,495	24,627
13 東京	1,010	2	175	833	165,348	362	13,391	151,595	50,345
14 神奈川	688	0	47	641	129,500	0	3,219	126,281	36,545
15 新潟	115	2	35	78	9,634	99	2,102	7,433	3,080
16 富山	74	1	29	44	5,228	99	1,277	3,852	1,657
17 石川	61	1	2	58	7,347	127	118	7,102	2,446
18 福井	96	1	69	26	3,337	102	1,233	2,002	983
19 山梨	66	1	4	61	4,974	97	242	4,635	1,613
20 長野	104	1	12	91	10,477	104	697	9,676	3,362
21 岐阜	184	0	80	104	22,502	0	4,323	18,179	7,096
22 静岡	448	1	231	216	52,425	102	17,528	34,795	16,784
23 愛知	502	1	86	415	92,336	126	9,999	82,211	29,843
24 三重	232	1	173	58	18,245	134	7,901	10,210	4,877
25 滋賀	160	1	139	20	15,934	150	13,013	2,771	3,915
26 京都	221	1	62	158	26,924	139	3,999	22,786	8,263
27 大阪	693	1	315	377	102,069	147	20,039	81,883	27,365
28 兵庫	611	2	392	217	61,803	243	21,272	40,288	12,930
29 奈良	186	2	141	43	14,983	284	8,766	5,933	3,714
30 和歌山	94	0	55	39	6,912	0	1,980	4,932	2,157
31 鳥取	20	1	3	16	2,210	88	141	1,981	697
32 島根	95	1	81	13	3,781	72	3,344	365	1,086
33 岡山	303	1	269	33	18,001	142	12,117	5,742	3,832
34 広島	270	2	89	179	29,847	182	3,323	26,342	8,749
35 山口	185	1	47	137	15,907	107	1,765	14,035	4,844
36 徳島	161	1	149	11	6,798	128	5,495	1,175	622
37 香川	158	1	122	35	13,157	137	7,532	5,488	3,968
38 愛媛	158	1	67	90	15,177	143	2,960	12,074	4,765
39 高知	47	1	18	28	3,393	113	676	2,604	1,023
40 福岡	467	1	50	416	65,242	65	3,532	61,645	19,691
41 佐賀	70	1	11	58	5,562	75	708	4,779	1,748
42 長崎	135	1	37	97	10,858	133	1,293	9,432	3,053
43 熊本	122	1	31	90	12,661	133	2,081	10,447	3,962
44 大分	197	1	131	65	10,742	156	3,324	7,262	2,277
45 宮崎	107	1	16	90	7,957	96	351	7,510	2,368
46 鹿児島	181	1	82	98	13,470	90	2,247	11,133	3,802
47 沖縄	272	0	240	32	17,006	0	13,051	3,955	1,321
総計 (全国)	11,676	49	4,321	7,306	1,401,966	5,510	237,987	1,158,469	398,017

※前年度間入園の在園児数は、平成26年度間に満3歳児入園した人数である。

※出典：平成27年度学校基本調査速報（平成27年5月1日現在）

※幼保連携型認定こども園の園数等は含まない。

幼稚園の現状

(平成27年5月1日現在「学校基本調査速報」)

在園児数(2) 左記のうち前年度 間入園(内数)	教員数(本務者)		小学校第一学年児童数(A)			幼稚園修了者数(H 27.3)(B)	就園率(B/A)		
	4歳	5歳	計	国立	公立				
2,476	20,230	20,823	4,671	10	390	4,271	41,123	23,644	57.5%
728	2,171	2,345	658	6	26	626	9,921	2,844	28.7%
569	3,004	3,187	720	7	240	473	10,131	4,243	41.9%
633	11,374	11,632	2,246	7	454	1,785	19,784	12,988	65.6%
218	1,209	1,242	343	10	39	294	7,297	2,777	38.1%
666	3,103	3,222	841	7	72	762	9,050	4,040	44.6%
884	8,084	8,372	1,980	4	719	1,257	15,083	9,909	65.7%
713	10,234	11,147	2,108	7	757	1,344	25,002	14,155	56.6%
1,816	7,550	7,885	2,000	8	21	1,971	17,038	10,376	60.9%
1,225	6,047	6,389	1,607	9	463	1,135	17,175	7,386	43.0%
1,205	37,252	38,164	6,818	6	281	6,531	62,077	40,956	66.0%
895	30,470	31,849	5,410	6	696	4,708	52,963	33,786	63.8%
1,982	56,835	58,168	10,730	21	840	9,869	101,628	59,438	58.5%
827	46,031	46,924	8,028	0	226	7,802	77,783	50,581	65.0%
695	3,263	3,291	983	10	211	762	18,533	5,127	27.7%
448	1,740	1,831	514	7	130	377	8,611	2,337	27.1%
963	2,398	2,503	656	7	18	631	10,077	2,712	26.9%
356	1,054	1,300	393	7	148	238	7,138	1,909	26.7%
301	1,609	1,752	522	6	21	495	6,911	2,732	39.5%
424	3,468	3,647	862	7	75	780	18,287	4,360	23.8%
1,277	7,423	7,983	1,873	0	568	1,305	18,215	8,289	45.5%
2,125	17,619	18,022	3,919	7	1,486	2,426	32,296	20,305	62.9%
3,156	31,231	31,262	5,552	7	716	4,829	69,449	32,774	47.2%
636	6,529	6,839	1,570	8	859	703	16,036	7,543	47.0%
14	5,863	6,156	1,429	9	1,206	214	13,857	7,345	53.0%
1,320	9,222	9,439	2,236	8	365	1,863	21,600	9,855	45.6%
1,706	36,654	38,050	6,759	12	1,647	5,100	74,144	43,855	59.1%
1,082	23,485	25,388	4,421	16	1,782	2,623	49,202	29,371	59.7%
254	5,436	5,833	1,330	16	847	467	11,534	6,487	56.2%
503	2,289	2,466	597	0	232	365	7,993	2,945	36.8%
273	671	842	253	7	15	231	4,791	1,438	30.0%
60	1,337	1,358	476	7	419	50	5,752	1,549	26.9%
439	6,965	7,204	1,443	9	1,035	399	16,985	7,929	46.7%
1,287	10,438	10,660	2,061	12	276	1,773	25,527	11,818	46.3%
1,156	5,546	5,517	1,216	7	170	1,039	11,485	5,669	49.4%
71	2,819	3,357	731	8	600	123	5,977	3,862	64.6%
529	4,462	4,727	1,136	7	730	399	8,678	5,028	57.9%
992	5,130	5,282	1,216	8	301	907	11,546	6,328	54.8%
196	1,207	1,163	346	6	86	254	5,761	1,533	26.6%
4,432	22,611	22,940	4,815	6	279	4,530	46,872	24,034	51.3%
510	1,910	1,904	461	5	60	396	7,973	3,403	42.7%
940	3,797	4,008	970	7	126	837	12,115	5,205	43.0%
945	4,297	4,402	937	7	176	754	16,414	5,496	33.5%
403	3,256	5,209	900	10	364	526	10,224	6,205	60.7%
963	2,711	2,878	636	7	45	584	10,276	3,848	37.4%
1,123	4,648	5,020	972	4	198	770	15,356	7,194	46.8%
231	3,419	12,266	1,153	0	874	279	17,102	13,367	78.2%
44,647	488,101	515,848	101,498	352	21,289	79,857	1,082,772	578,975	53.5%

体験からの育ち
～里山公園を通じて～

○石上 雄一朗 (平和学園幼稚園)
河窪 悅子 (平和学園幼稚園)

内山 佐代子 (平和学園幼稚園)

1. きっかけはお芋掘り！！

以前は全園児が園近隣の畑でお芋掘りでしたが、昨年度からは年長組が知り合いの農家さんとサツマイモ作りをしています。この畑には、用水路・虫・草花など豊富な環境があります。また苗植えから収穫までの体験が出来ることがこの畑へ変更した大きな要因でした。その畑の近くに茅ヶ崎市立里山公園があります。



2)「ちょっと危ないをちょっとだけ」と、子どもは坂を四つん這いになって攀じ登り、泥だらけになったり、登れない子を支えたり、用水路を覗き込み魚の観察をしてしたりと、ドキドキ、ワクワクと目を光させていました。
→チャレンジ心・助け合い・運動能力



2. なぜ里山公園なのか！

・豊かな自然環境（虫・木々草花・土など）

自然環境からは、遊びのたくましさ・心の開放感・完成がはぐくまれるのではないか。

・多くの人的環境の存在（地域住民とのコミュニケーションなど）

人的環境からは、コミュニケーション能力、人同士のぬくもりがはぐくまれるのではないか

・人工的環境（坂・階段・大型遊具など）

物的環境からは、運動能力が育まれるのではないか。

この3つの環境により、里山公園には園内だけでは体験できない多くの環境が存在している。特に本園では、里山公園に自然環境と人的環境を求めている。

3. いろいろな体験をご紹介します。

①思いつきりかけまわる（自然環境）

1)木の実を取りにいこうよ！と園にはないものを集める子、竹の子に興味がある子、お花を摘んで花束にする子など、豊かな自然を全身で感じていました。



→感性・五感・発見の喜び・物への愛着

②温かい目で支えて頂きました（人的環境）

1)黒米農家さんありがとうございました。たまたま出会った農家さんにお米を頂きました。食べるまでの大変な工程もクッキングを通じて体験しました。

→人の温かさ・収穫への感謝・触れ合いの大切さ



2)土のついた靴でトイレを借りた子どもたち。「ほうきをかしてくれませんか」と職員の方と関わりを持ちました。

→身についた力の実践・公共の場でのルール



4. 体験してどう変わった？見えてきたものとは？

・次行くときにはこうしようと考える子どもなりの計画性、行くために先生たちと交渉するたくましさが育まれたのではないか。

・教師の過剰な制約、創造力(想像力)の欠落・遊びの力のなど、教師の技量がそのまま子どもたちの自由度・安全性などに影響することが園外保育では特に見られた。

・里山公園という園内にはない環境を活かすも殺すも教師次第ということが見えてきました。

「幼児教育実践学会 ポスター発表 事後報告書」

預かり保育における、子どもの育ちを考える

認定こども園 立花愛の園幼稚園 片岡章彦

認定こども園 武庫愛の園幼稚園 松岡護

① 企画趣旨

預かり保育で大切なことは、幼稚園で長時間過ごしている子どもが、安心して過ごせることである。家庭的な雰囲気な中で、落ち着いて遊べる環境づくりや、関わりや配慮が必要となる。預かり保育では、異年齢による育ち合いが大切で、その点を意識する必要もある。預かり保育での育ちについて整理し、どのような配慮や保育の在り方が望まれるのか考える。

② ポスター発表を踏まえて

今回の発表は、預かり保育の保育内容や子どもの育ちを意識する大変良い機会となった。異年齢児の関わりと育ち、クラスの保育での子どもの遊びや活動と預かり保育での遊びや活動とのつながり、クラス担任と預かり保育担当との連携、預かり保育担当の研修の在り方について等、課題を明確となった。

クラス担任と預かり保育担当が、子どもの姿を伝え合う事は、子どもに対しての配慮に繋がっていく。クラス担任と預かり保育担当が子どもの育ちや課題を共有することで、子ども理解を深めることにも繋がり、複数の保育者が子どもについての育ちの見通しと具体的な関わり方が持てるようになっていくきっかけにもなった。また、クラスでの保育と預かり保育とが全く別の保育として行われるのではなく、クラスの保育の中で挑戦した事を、預かり保育の時間にも挑戦する事が出来る。つまりクラスでの保育と預かり保育の連携が、子どもの挑戦や経験の継続を促し、それらの積み重ねに伴う育ちに繋がっていくのである。

また、預かり保育を利用する家庭は、様々な事情を抱えている。中には朝7時の早朝保育から夜7時までの長時間保育になる子もいる。早朝保育を利用する子は、朝の早い時間から幼稚園に来る為、やりたいことを寸断されたり、せかされたりしながら、気持ちの整理や生活の流れができない登園する子もいる。そのような場合は、保護者と離れられなかつたり気持ちが不安定だったりするので、子どもが気持ちを切り替えられるような遊びや関わりが大切である。クラスでの保育も同じであるが、預かり保育においても受け止めてくれる保育者がいたり、自分のやりたい遊びや明日も続きをしたいと思えるような遊びがあったり、遊びたい友達がいるという事が子どもの安定に繋がることを改めて感じることが出来た。

ポスター発表をする中で、沢山の意見交換をする事が出来、そのことによって新たな課題の発見と今後の挑みに対して希望を持つことが出来た。預かり保育がこれからより必要となってくる部門であると改めて感じる事が出来たことは、責任の重要さと共に、それゆえのやりがいを持つことにも繋がった。

③ ポスター発表を経て

今回の発表は、立花愛の園幼稚園と武庫愛の園幼稚園という姉妹園で協力しながら、それぞれの園の預かり保育についての現状を出し合い発表に行きついた。発表で学んだ事を預かり保育に携わる職員全員が共通理解を出来るように、二学期早々に立花愛の園幼稚園と武庫愛の園幼稚園の預かり保育担当者による合同研修を行う事が出来たことは、今回の発表の成果の一つである。今まで預かり保育の担当者は午後の時間や土曜日にも子どもがいる為、園内の研修会や外部の研修会に皆が揃って参加するという事は難しかった。しかし、今回の発表を機会として「預かり保育についての育ち」を預かり保育の担当者全員で共有する事が出来た。預かり保育の担当者が同じ意識で、子ども達と向き合う為にも担当者全員で研修会を行えた事には大きな意味があったと思える。今回ポスター発表をした事によって、当日までの話し合い・発表での意見交換・事後の研修会と学びが繋がっていったように思う。今回の学びを継続していく様に、預かり保育においての研究を引き続き行っていきたい。

主体的な遊びの充実をめざして

神戸女子大学附属高倉台幼稚園 小林美佐子 國光みどり 塩谷千明

【問題と目的】

「幼稚園教育要領」においては、幼児の生活や活動の中心は遊びであり、自発的な活動としての遊びは幼児期の重要な学習であるとしている。そこで、幼児の遊びは、一人一人の育ちや小学校への学びの芽生えに繋がるよう質の高い遊びの充実が求められる。まず3歳・4歳・5歳における発達の特性を明らかにし、幼児の主体的な遊びの充実をめざし考察する。

【方法】

本園で実践している異年齢児のかかわりの遊びの場「なかよしタイム」において、遊びが充実する為のキーワードを探り考察する。

「なかよしタイム」におけるエピソード記録から、遊びへの取り組みや学び、保育者のかかわりを読み取っていく。「主体的な遊び」と「モノ・人・コトのかかわり」の2軸で遊びが充実していく為のキーワードを探っていく。

その中から幼児が遊びたくなるような保育者のかかわり、幼児がかかわりたくなるような環境づくりに視点をおき課題を考察する。

【内容】

1. 発達・学び・生活の連続性に視点をおき、

3歳・4歳・5歳における特性を捉える。

○5歳児 みんなと力を合わせて創りだす時期

[つながる 深まる 協同する]

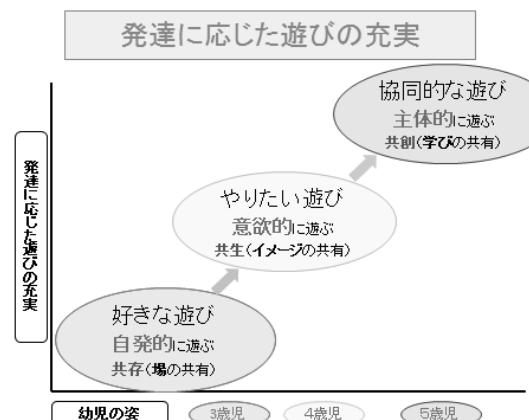
○4歳児 一人一人が自己充実する時期

[触れ合う かかわる 伝える]

○3歳児 ありのままの自己を発揮する時期

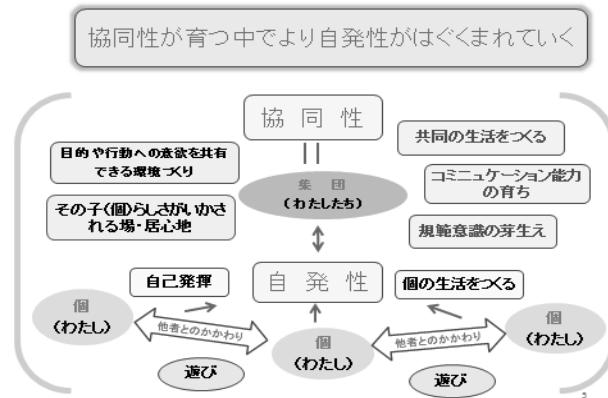
[出会う 気づく 感じる]

2. 発達に応じた遊びの充実とは(図1)



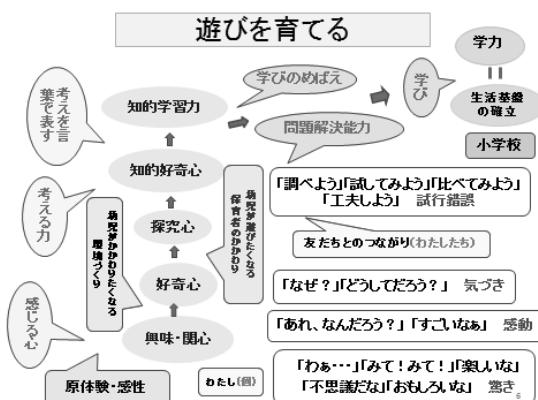
3. 個と集団について【自発性から協同性へと】

幼児は、他者とのかかわりの中で遊びながら自己発揮し自発性が育まれる。さらに、集団生活を通し、わたしたちという意識が芽生え、協同性が育つ。協同性が育つ中で、自発性も発揮される。(図2)



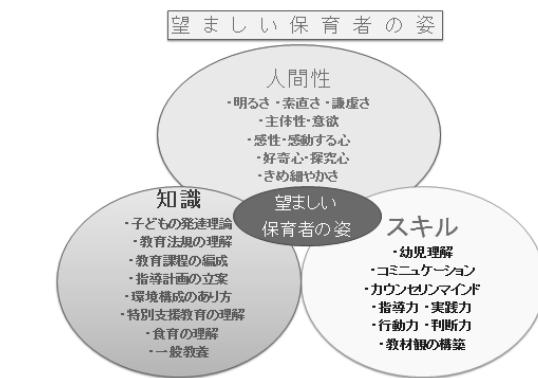
4. 遊びを育てるとは【遊びから学びへと】

幼児期の遊びをどのように小学校へと繋いでいくかを考察し、下記の図で表す。(図3)



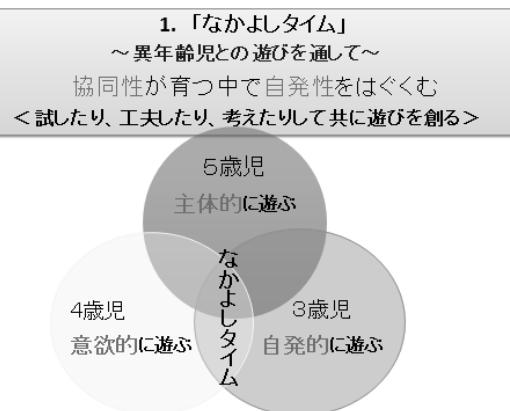
5. 望ましい保育者の姿とは

幼児が主体的に遊びに取り組み充実する為に、望ましい保育者の姿を考察する。(図4)

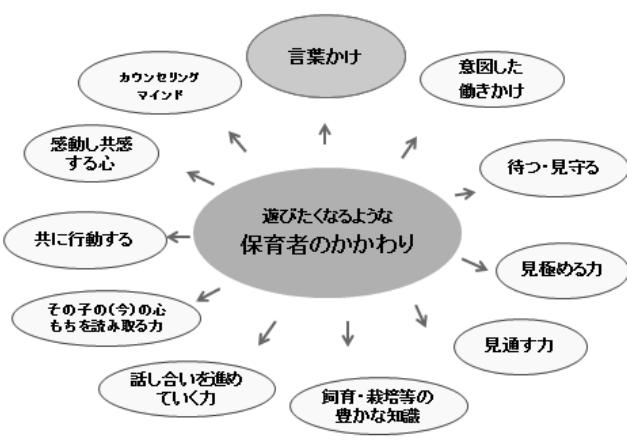


【ポスター発表3 概要】

6. 異年齢児との遊び「なかよしタイム」(図5)



7. 遊びたくなるような保育者のかかわりとは
遊びが充実するには、保育者のどのようななかかわりが大切であるか考察する。(図6)



8. 言葉かけについて

保育者のかかわりの中で遊びが充実していくには、特に言葉かけが大切であると考える。

幼児同士がかかわる

もっと遊びたいと思える・やる気ができる
楽しくなる・嬉しくなる

励ます・誘いかける・自信がつく
共感する・相手の思いに気づく

気づく・考える・提案する・ヒントをだす
新しいアイディアをうみだす

イメージをもつ・広がる・共有する
遊びがつながる・広がる・深まる

衝突→納得する・仲立ちする

認める→個・グループ・集団

9. 遊びを通しての幼児同士のかかわり

衝突する場合、5歳になるほど力関係がみられる。

聞く・話す・話し合う・伝え合う・教える

真似る・いたわる・憧れる・思いやる

助け合う・教え合う・認め合う・譲り合う
励まし合う・応援する・力を合わせる

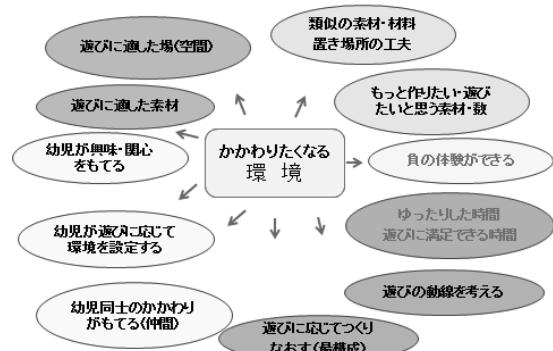
相手の思いに気付く・相手を気遣う・共感
一緒に楽しい（嬉しい）・相手のことを喜ぶ

同じイメージをもつ・一緒に創りだす
互いの（思い）考え方を出し合う

衝突する（力関係がみられる）・ルールを守ろうとする

10. 幼児がかかわりたくなる環境

環境において何が大切か考察する。(図7)



【総合考察】

- 常にそれぞれの幼児の育ちの過程を捉え、時系列に発達の連続性を見据えていく。
- 異年齢の多様な遊びから互恵関係が生まれ、主体的に取り組み、遊びの充実につながる。
- 幼児が主体的に遊びたくなるように、保育者が教育の意図性を明確にする。
- 保育者は、幼児同士がかわって遊びたくなるような言葉かけを心がける。
- 幼児がかかわりたくなる環境づくりをする。負の体験ができる環境も学びに繋がる。
- その子（個）らしさを發揮しながら、友達と協同する喜びを味わう状況づくりをする。
- 小学校生活を見通し、様々な社会的規範を体験していく。

子どものやる気を引き出す保育者の援助

相模女子大学幼稚部 教諭 藤井藍子

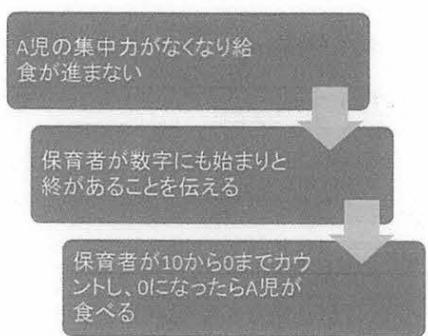
I.目的

年中組4歳児のA児は、数字を好み、時計や日付などに興味をもっている。一斉活動はみんなと一緒に行うが、自由遊びになると保育者や友達に対して関わろうとせずに友だちや保育者の様子を見ていることが多い。私自身がどのように接していくかA児とコミュニケーションがとれるか試みた。子ども達一人ひとりにとって、興味や関心が異なる。A児は毎日の支度などを行うことが苦手で鞄の中はぐちゃぐちゃになっており、箸が剥き出しで入っていても気にしている様子はなかった。

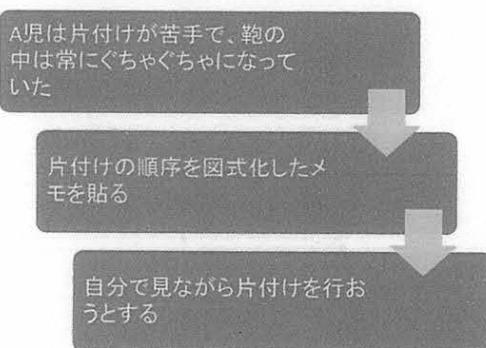
A児の好きな数字を使って保育に活かしていこうと考えた。個々に合わせて子ども達のやる気を引き出していける保育者の援助や声かけについて考察していきたい。

II.方法

1.カウントする



2.図式化する



(1)考察

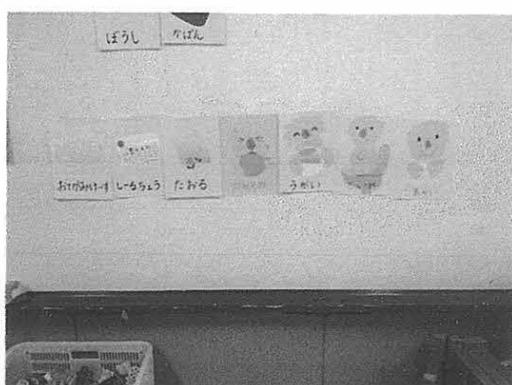
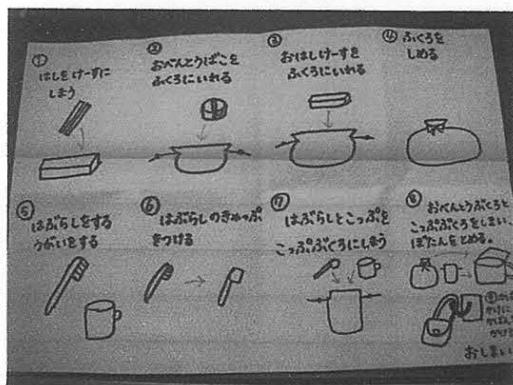
数字にも終わりがあることを伝えたことで、今は数字のことを考えて良い時間か、給食を食べる時間かが分かりやすくなったと考えられる。A児は食べ始めは集中して食べられるが、苦手なものが残ったときには集中力がなくなってしまう。しかしカウントすることで、楽しみながら食すことが出来た。保育者が離れても自分で心の中でカウントして食べている様子も見られた。

何度か繰り返すうちに時間内に給食を食べ終えることができるようになった。保育者に褒められることが嬉しかったようで、給食中に数字のことを考える時間が減ったように思われる。

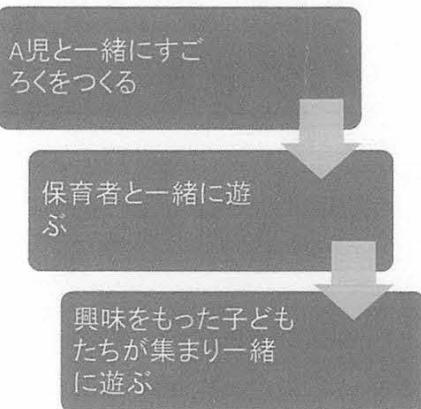
(1)考察

片付けが苦手なA児は何度も注意されると嫌な気持ちになってしまうと考えた。A児は保育者に「今何番まで終わったの？」と促されながら片付けを行なっていた。長期的に継続して行なっていくことが大切だと考えられる。また、A児だけが特別なのだと他の子どもたちに思われないように配慮が必要である。

A児はいつもとパターンがかわってしまうと戸惑うこともあるので、ルーティンワークとして支度の順番が決まっているとA児にとって分かりやすく落ち着いて行動できるものだと考えられる。



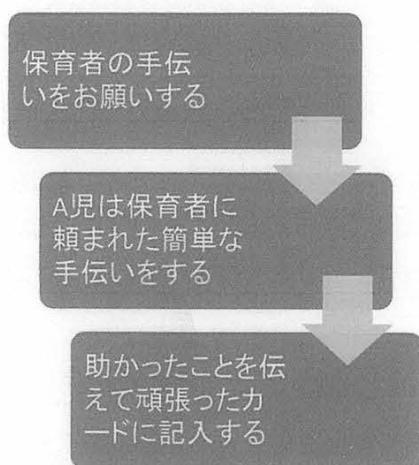
3. ゲームをする



(1) 考察

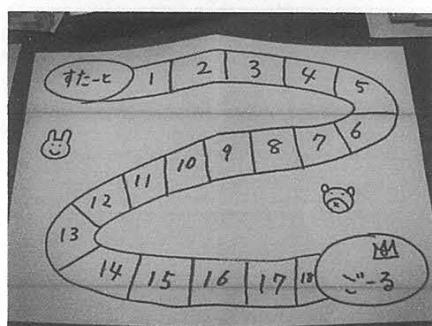
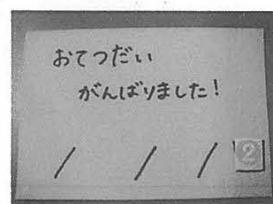
保育者が既に遊び始めているところに「A児も一緒に遊ぼう」と誘うと嫌がってしまうことが多いA児だった。ところでは最初にA児が遊び始めて後から友だちが「入れて」と来ても嫌な顔をせずに一緒に楽しんでいた。筆者は幼稚園で友だちと一緒に遊ぶことが楽しいと感じる経験をすることで、また一緒に遊びたいと思えるようになると考えた。一度一緒にすごろくを行なっていたメンバーは自然な流れで昼食後にも一緒に遊ぶ姿が見られた。きっかけがあればA児も友だちと一緒に遊ぶことができる。A児の成長段階では自らきっかけ作ることが難しいので、保育者が一緒に遊んでみんなと遊べるきっかけを作っていくことが大切なのだと想われる。

4. 手伝いをお願いする



(1) 考察

保育者はA児との関わりを作りたかったため、A児にお手伝いをお願いした。お手伝いが出来た際はカードを作り3回手伝うと数字シールを貼ってあげた。ずっとシールをあげ続けるとシールを貰えるから頑張ることに繋がってしまう恐れがある。そのため、お手伝いができたら沢山褒めて、A児の母親にも手伝いを頑張っていることを伝えてお手伝いをして喜んでもらえることが嬉しく感じられるように心がけた。



↑お手伝いを頑張ったときに渡すカード。

筆者との関わりを持たせるために行い始めた。筆者がA児に一方的にお手伝いをお願いするだけではなくて、次第に筆者ともコミュニケーションをとれるようになった。

←筆者がA児と一緒に遊んだすごろく。

最初は2人で遊んでいたが、次第に友だちも入ってきて8名程度で遊ぶことが出来た。

III. 結論

筆者は、A児が1人でご飯を食べることを好んで誰とも遊ぼうとしないことに心配するばかりだったが、まずはA児と保育者との信頼関係作りが大切である。数字の世界と一緒に共有していることがA児に伝わると、少しずつA児も保育者に心を開いてくれた。筆者自身もA児にみんなで遊べるように誘う以外にも、A児にとって安心して過ごせる環境作りが大切だと感じた。

A児の興味を持っている数字を用いて友だちとの関係が少しずつ持てるようになったり、保育者が好きなことを共有することで保育者との関係も深まっていた。ひなまつりの製作で行なった屏風作りにもはまり、自由遊びの際に作った屏風を保育者にプレゼントするようになった。また、A児がやってみたいことを保育者に主張できるようになってきた。以前は保育者がたくさん質問してやっと少しのコミュニケーションがとれる状態だったが、現在では保育者が質問したこと以上にA児が話したいことを自ら話すようになった。

子どもはこうあるべきだと決めつけるのではなく、その子どもの成長段階や興味をもっていることに寄り添っていくことでより良い保育につながるのだと感じた。これからも個々の気持ちに寄り添った保育を行っていきたい。

私学事業団からのお知らせ

平成27年度

健診結果をご提出いただきまして、 ありがとうございます。



健診結果の第2回提出期限は、平成28年1月31日です。引き続きご協力をお願い致します。

ご提出いただきました皆様には、健康情報冊子「QUPiO(クピオ)」を8月末より順次発送させていただいております。

①QUPiO
(クピオ)



お一人おひとりの健診結果にあわせたアドバイスを掲載している健康情報冊子です。ヘルシーな食事や簡単にできるヨガなど、たのしい情報が満載！

②特定保健指導利用券(保健指導対象者のみに送付しております)



専門家(保健師や管理栄養士など)から無料でアドバイスを受けられる券です。

*保健指導を受けませんか?(②をお持ちの方)

「生活習慣を改善したいけれど、なかなか続けられない」という経験はございませんか?

保健指導では、専門家があなたに合った、無理のない生活習慣プランと一緒に考えていきます。

保健指導で、生活習慣改善への軽やかな一步を踏み出してみませんか?



相談料無料

メンタルヘルス等相談サービス

私学事業団健康相談ダイヤル

24時間
年中無休

健康相談、メンタルヘルス相談、医療相談、育児・介護相談に医師・保健師・看護師などが24時間体制でお応えします。

対象者:加入対象者(任意継続加入者を含む)とそのご家族及び75歳以上の教職員

24時間 悩みいらず
 0120-24-7831

WebカウンセリングURL
<https://t-pec.jp/websoudan/>

ユーザー名: shigaku
パスワード: 247831

プライバシー保護を厳守しておりますので、安心してご利用ください。

詳しくは、私学共済ホームページ(私学事業ホームページ⇒福祉事業のご案内⇒健康管理に役立つ)をご参照いただくか、または福祉部保健課へお問い合わせください。

日本私立学校振興・共済事業団
福祉部 保健課 健康管理係・保健係

〒113-8441 東京都文京区湯島1-7-5
電話 03 (3813) 5321 (代表)
FAX 03 (3812) 8775

私立幼稚園の新たな挑戦

旧間に属しますが先の公益法人制度改革に伴い、私たち（社）山梨県私立幼稚園協会は公益社団法人山梨県私学教育振興会幼稚園部会として平成26年4月1日に新たにスタートしました。

それに先立つ平成24年4月1日に事務局を同じくする私学5団体〔任意団体の私学協会、山梨県私立中学校・高等学校連合会、（財）山梨県私立学校退職金財団、（財）私学教育振興会〕が合併・事務継承により（社）山梨県私学教育振興会となりました。

新制度では公益事業比率50パーセント以上が公益法人の要件とされ、当時は「退職金事業は非公益事業」との見解が一般的だったため、当初は「一般法人化止む無し」との方針でした。しかし、全国私立幼稚園退職金団体協議会の研修会で東京都等の情報に接したことを契機に、急遽、第1段階で私学団体合併により要件とされる組織・事務体制を整備し、第2段階で公益法人化を図る方針に大転換したのです。この方針転換とその後の合併等準備作業で私立幼稚園団体はリーダー役を果たし、存在感を示しました。

さて、公益法人化への直接的動機は退職資金果実の非課税でしたが、せっかくの合併・公益法人のメリットを活かすため、将来ビジョンの検討を進めています。全国1、2を争う人口減少率の山梨県で幼稚園から高校までの教育環境向上に私学の果たしうる役割は小さくありません。私立幼稚園の新たな挑戦です。

（公益社団法人山梨県私学教育振興会幼稚園部会部会長、甲府市・聖愛幼稚園／鈴木信行）

I have a dream

このことばは、故マルチン・ルーサー・キング牧師のことばです。目で読むだけでなく、声に出して読んでみましょう。繰り返し読むうちに、何だか勇気が湧いてくるのは、私だけではないはずです。

猛暑真只中の8月6日に、鳥取県の幼稚園、認定こども園の教師約250人が一堂に会して「子どもの『今』に寄り添い、子どもの『未来』を築く～保育の質を考えよう～」をテーマに研修大会を開き、研鑽を積みました。「I have a dream」の世界です。

主題講演は、滋賀大学教育学部教授、白石恵理子氏をお招きして「“今”を輝かせて“未来”をつくる～発達をとらえるまなざし～」のテーマで、豊富な体験をもとに、細かくご教授いただきました。ポイントとして「子どもが真に主体になるために」「真似をする時期に何を真似させるか」「没頭できるあそびはあるか」「4歳半の発達のふし」「昨日、今日、明日がつながっているか（時間軸の理解）」のことばが、印象に残りました。

子どもの成長は、家庭での生活と幼稚園、認定こども園などの集団生活が、より良い相互作用をしあって保障されますが、そのどちらの場所でも、子どもたち、そしてまわりの大人たちが、頃垂れていてはいけません。子どもたちが一人も頃垂れることがないように、大人が見せるべき態度を分科会での充実した学習に戻って考えました。同志は、傍らにいます。

とは言え、それはキチキチ、力チカチに大人が固まるのではなく、子どもたちへの共感を忘れずに、おおらかに、「I have a dream」。

（鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会副会長、鳥取市・愛真幼稚園／伊達季代子）

編集後記

猛暑が続いた夏休みも終わり子どもたちの元気な声が園舎に響き渡ります。海に行ったり、山に行ったり、お祭りに参加したりいろいろな経験が子どもたちをひとまわりも大きく成長させてくれました。涼しくなり過ごしやすい時期に、休み中に充電したエネルギーをスポーツや遊びなどいろいろな方面に発揮してくれることでしょう。

8月15日は終戦記念日。戦後70年を迎えた今年は戦争を風化させまいとさまざまな戦争体験

者の記事が新聞にとりあげられていました。多くの犠牲があつての今の平和であること、二度と悲惨な戦争を起こしてはいけないと心に誓った夏でもありました。「中年の星」と今話題の宇宙飛行士油井亀美也氏は地球の美しさを絶賛していました。この美しい地球が戦争の無い本当に美しい地球になつてほしいと願わざいられません。

(調査広報委員・岸 豊)

平成27年度(第8回) 免許状更新講習の認定一覧

●選択領域「教科指導、生徒指導その他教育の充実に関する事項」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
山形県 山形市	本講習は、保育者としての専門性を高めることを目的とし、幼児理解・保育の振り返り・遊びの充実について学び、幼児教育の要について認識を深めるものである。また、保護者への対応として、保護者との向き合い方についても学ぶものである。	高橋 栄美子(認定こども園さゆり幼稚園園長、東北文教大学短期大学部非常勤講師)	6時間	平成27年11月23日	50人	平27-81340-57764号
長野県 松本市	・アート×育児、アート×医療、アート×福祉、アート×諸学問領域等、今改めて意識されるようになってきたアートと他のさまざまな領域接点に目を向け、アートが持つ、異なる領域同士を結びつけていく力について、講義をとおして教育内容を深める。 ・幼稚園、絵画教室での実践例をとおして、子どもたちの「ことばの育ち」につながるようなアートアプローチを学ぶ。 ・振り返りの時間として、切り絵の手法で一巻の絵本を制作し、グループ内で制作した絵本のプレゼンテーションを行う。	保高一仁(松本短期大学助教、女子美術大学アートデザイン表現学科非常勤講師、長野県基礎看護学校非常勤講師)	6時間	平成27年11月28日	100人	平27-81340-57765号
福岡県 福岡市	幼稚園等の「保育」が展開される場には、絵本、紙芝居、人形劇、わらべうた、遊具・玩具等々の多様な保育文化が存在する。第1講では、これらの多様な保育文化を具体的に取り上げつつそれらをどう保育における「環境の構成」に活用していくかを学ぶ内容としたい。第2講は、保育における「環境の構成」を行う上で、必要な要点とは何かを考え、その要点を元に、より発展させ、保育実践に生かしていくことのできる環境構成力を養うものである。	森田浩章(東京家政大学准教授) 坂田和子(福岡女学院大学准教授)	6時間	平成27年11月14日	100人	平27-81340-57766号

ひろみすお兄さんの からだあそび

佐藤弘道 著

からだがつくられる幼児期には、全身の運動能力をバランスよく身につけることが大事。
筋力・瞬発力・柔軟性・平衡性など、身につけたい運動能力ごとにあそびを紹介していきます。
補助のしかたや安全のポイントなど、役立つアドバイスもいっぱいの、からだあそびの決定版！

じわじわ
どっかへん!
体力アップ

楽しく
バランス!
調整力アップ

親子体操

好評発売中!

ひろみすお兄さんの
からだあそび

定価 1,944円(税込)
26×21cm/96ページ
発行・発売 チャイルド本社